



平成28年4月1日創立

世田谷区立下北沢小学校

同窓会報

平成29年度
(平成29年11月発行)

発行所
世田谷区代田6-21-5
下北沢小学校同窓会

発行人
野地勝彰

新しくなった同窓会

同窓会長 野地勝彰(昭和二六年東大原卒)

今年三月下北沢小学校から初めての卒業生が誕生しました。これによって東大原、守山、下北沢と三校の卒業生が揃いましたので四月に総会を開催して下北沢小学校同窓会の設立が承認されました。参加して下さった三校の卒業生の皆様有難うございました。

東大原の同窓会にとつてはこれまで検討を重ね総会で承認されたことが実現されたことになりました。

四月の設立総会の議事と会則については二ページ以降をご覧くださいますが会長には私が、評議員、理事などの役員に二校の卒業生が任命されこれからの同窓会の運営を進めて行くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。

そこで早速世田谷代田ものこと祭りや羽根木公園の梅まつりといった守山学区地域の地域行事に対する協賛を同窓会活動として行うことにしました。

現在新校舎の建築は順調に進んでいて、来年三月の完成は予定通りとのこと。今年度は学校への貢献という意味での活動は控えていますが、来年度は新校舎への移転を機会に学校への協力活動を積極的に行っていくしたいと思います。

繰り返しになりますが下北沢小学校は第三荏原をルーツとする私達の母校です。三校合わせて卒業生は二万人を超えています。東大原同窓生の皆様にはこれまで通りのご支援ご協力を、守山同窓生の皆様には多くの方に同窓会員としてご登録をいただいた上でご協力とご支援をお願い申し上げます。

統合前は世田谷区立の小学校では傑出した同窓会との評価をいただいていた。下北沢小学校同窓会としてもこの評価を維持すべく役員一同努力して参ります。会員皆様のご協力を再度お願いいたします。



副会長 齋田孝(昭和二八年守山卒)

守山小学校と東大原小学校は統合して下北沢小学校になりました。守山小学校在校時は、東大原小学校はとても存在感のあるライバルでした。東側にある一筋の川の向こうには、違う空気が漂っている感じさえしていました。大雪の降った日に、期せずして両校の生徒が川を挟んで対峙して、雪合戦になった事がありました。守山側は大いに戦意が高揚して、夢中で戦った事が懐かしく思い出されます。

今回そのライバル同志が統合され、同窓会も一つになった事は、地域にとつても意味のある感じがしております。

素晴らしい実績のある東大原小学校同窓会の皆様と共に、下北沢小学校同窓会の新しい歴史を、恙無く重ねて行ける様、勤めたいと思っております。よろしくお願い致します。



新設下北沢小学校見学会

旧東大原小学校の跡地に建設されている新校舎が三月には完成します。学校では地域の方や同窓の方の為に四月二二日の午後、開放見学会を開催を予定しています。同窓生の皆さま、新しい母校の見学に行きましょう。

下北沢小学校同窓会総会のお知らせ

新設なった新しい母校で、第二回下北沢小学校同窓会が左記のように開かれます。第一部は総会議事、第二部は同窓生による催しです。今回は新しい体育館に、世界的に有名なジャズピアニストの山下洋輔氏を招いて、お話とピアノの演奏をお願いします。

日時 平成三十年四月十五日(日) 三時から五時
場所 新設下北沢小学校(旧東大原小跡地)

開校して一年半

下北沢小学校校長 池上京子

下北沢小学校は、開校して一年半が過ぎました。同窓会報に、今までの苦勞や奮闘したことなどを書いてほしいと依頼されましたが、少し困っています。なぜなら、下北沢小学校で苦労したことや、辛いと思つたことがないからです。私は毎日、子どもたちが元気に登校し、頑張つて学習したり、活動したりする姿を見ることができ、幸せだと感じています。保護者、同窓会、地域の皆様が温かく下北沢小学校を支え、見守ってくださっているから、子どもたちがのびのびと明るく生活できるのだと思つています。

しかし、昨年度一学期の子どもたちは、環境の激変に対応しきれない面もあり、怪我をしたり、落ち着かない様子も見られたりしました。そこで、生活指導部を中心に「心を整える」という取り組みをしました。「あいさつを通して、人間関係を円滑に結ぶこと。落ち着いて学習や活動に取り組めるように、五分前から行動して準備をすること。身の回りの整理整頓をして、よい環境の中で過ごすこと。」を重点にしました。その結果、子どもたちの生活は大きく変化しました。

昨年の第一回開校記念日に向けて、「統合」について子どもたちに聞いてみました

- ・友だちが増えてうれい。
- ・みんながやさしくて、学校が楽しい。
- ・いろいろな子とたくさん遊べる。
- ・学校が大好き。

・楽しいことがいっぱいある。

など、他にもいろいろな感想がありました。肯定的な感想ばかりでした。特に多かったのが、「友だちが増えたこと」でした。統合前、私たちは、様々な心配をしました。そんな心配をよそに、子どもたちの前向きな対応力、元氣や逞しさ、おおらかさや優しさで、学校が楽しい、学校が大好きという子どもたちばかりです。統合

前に、いろいろな準備を丁寧にしていただいた方々に、改めて感謝申し上げます。

来年度は、北沢小学校が下北沢小学校と統合します。北沢小学校の子どもたちが、不安な思いをしないように、準備を進めています。本来、新しい学校なので、新しい取り組みも積極的に進めたいところですが、北沢小学校でやっていけないことを、先行実施することを控えたり、統合式というものが無いので、校舎の落成式を四月に実施することで、北沢小学校受け入れのセレモニーを企画したりと配慮をしながら教育活動を進めてきました。

いよいよ三十年度は、新校舎に移転し、本格的な学校づくりです。今後はさらに皆様のご支援ご協力をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

下北沢小学校同窓会設立総会の報告

同窓会報編集委員会

下北沢小学校同窓会設立総会は平成二九年四月十六日(日曜日)午後三時より下北沢小学校体育館に於いて開催されました。

第一部は齋藤耕一さん(S三六年卒)の司会で、仮議長に選出された野地勝彰さん(S二六年卒)が下北沢小学校同窓会設立の経緯報告と同窓会設立準備委員会が作成した下北沢小学校同窓会会則の説明を行いました。その後参加者全員で審議を行い、下北沢小学校同窓会の設立と下北沢小学校同窓会会則制定の両議案について異議なく承認されました。

その後、同窓会評議員・理事・会長・副会長・監事の選出が行われ、事前の設立準備委員会で選出されていた、三四名の評議員、一五名の理事が承認され、野地会長(S二六年卒)、齋田副会長(S二八年卒)、白井副会長(S二九



年卒)、清水副会長(S三四年卒)と吉本幸一監事(S二六年卒)福士木綿子監事(S三一年卒)齋藤耕一監事が選出されました。そして野地会長と齋田副会長の挨拶があり本年度の事業計画、予算計画の報告があり、議事は終了しました。

そして、池上下北沢小学校校長兼同窓会名誉会長のお話が続いて、新入会員を代表して三月に卒業したばかりの第一期生の油田芽依さんと佐藤明信さんの元氣な挨拶がありました。そして来賓紹介の後、来賓を代表してPTA会長の鈴木美香様よりご挨拶を頂いて無事一部が終了しました。議事の詳細については四ページをご覧ください。

第二部は元守山小学校PTAだったオペラ歌手 中川裕子先生による歌唱とトークショーでした。まず東大原小学校と守山小学校の校歌を一番だけは斉唱でなく中川さんに音楽家として歌っていただきました。素晴らしい。我々の歌と全然違う。歌というのは人間の体全体をつかって奏でているんだということがはつきりわかりました。そしてそれに引き続き皆で声を合わせて校歌斉唱。丁寧に、大声で歌って大変いい気分でした。それから誰もが知っている、ローレライ、からたちの花、荒城の月、故郷、赤とんぼなどを皆で一緒に大声で歌い、最後に先生の独唱を三曲楽しみました。まず「からまつ」。感動しました。聞いていると軽井沢の落葉松林の中にいるような気になりました。そしてオペラの歌曲は二曲、私たちの記憶の中にあるああこれだという懐かしいアリアでした。ヘンデル作曲のリナルドとプッチーニの蝶々夫人でした。私たちみんなが知っている歌なのですが、それをこんな目の前で聞くのは初めての体験、すごい奥行きと感情が伝わってきて、音楽という芸術の深淵を垣間見た感覚を感じて素晴らしい経験でした。

其の後、興奮を抱えたままの懇親会。子供の頃の両校の対抗意識の話などで盛り上がり、同じ時代を生きた仲間たちという実感を感じた一日でした。

総会風景



若々しい新入会員の皆さん



議事進行



若々しい新入会員の皆さん



若々しい新入会員の皆さん



新入会員代表 油田さん 佐藤さん



前会長宮川参与と前々会長岩下参与



鈴木PTA会長



ソプラノ中川裕子さん ピアノ水間由紀子さん



素晴らしい歌唱ありがとう



皆で歌う故郷や校歌



懇親会



懇親会

平成29年 設立総会議事内容

第一部 総会議事

前ページ掲載の下北沢小学校同窓会設立総会で承認された内容を下記に示します。

第1号議案

下北沢小学校同窓会設立の経緯報告と承認

第2号議案

下北沢小学校同窓会会則の承認

第3号議案 役員 の 選出

(以下「東」は東大原小学校「守」は守山小学校
Sは昭和、Hは平成の略、数字は卒業年)

①評議員

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
東 S14	岩下 秀男	東 S34	小清水 和子	東 S48	大木 弘人
東 S26	野地 勝彰	東 S34	宮田 維久子	東 S49	窪田 賢雄
守 S28	齋田 孝	東 S35	梶川 照矩	守 S49	杉本 真
守 S28	吉本 幸一	東 S35	神谷 良男	守 S49	蒲原 恵理
守 S28	片山 節子	東 S35	土田 真也	東 S50	渡辺 明男
東 S29	臼井 良雄	東 S35	益井 純子	東 S51	鈴木 茂
東 S29	大竹 英一	東 S36	漆畑 光一	東 S51	田尾 智志
東 S31	杉田 浩	東 S36	斎藤 耕一	守 S51	山本 直子
東 S31	重山 まこと	東 S36	大岡 雅子	守 S55	元田 雅子
東 S31	福士 木綿子	東 S36	小山田 忠	東 S58	上原 謙介
東 S32	玉利 勝昭	東 S37	関根 純一	東 S61	友葭 敬子
東 S33	岩本 照雄	東 S40	山中 一亨	副校長	奥長 英樹

②理事

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
守 S28	片山 節子	東 S35	梶川 照矩	守 S49	杉本 真
東 S29	大竹 英一	東 S35	神谷 良男	東 S50	渡辺 明男
東 S31	杉田 浩	東 S35	益井 純子	守 S55	元田 雅子
東 S31	重山 まこと	東 S36	漆畑 光一	東 S58	上原 謙介
東 S32	玉利 勝昭	東 S36	大岡 雅子	副校長	奥長 英樹
東 S34	宮田 維久子	東 S36	小山田 忠		

③会長・副会長

	卒業年	氏名	卒業年	氏名
会長	東 S26	野地 勝彰		
副会長	守 S28	齋田 孝	東 S34	小清水 和子
	東 S29	臼井 良雄		

④監事

	卒業年	氏名	卒業年	氏名
監事	守 S28	吉本 幸一	東 S31	福士 木綿子
	東 S36	斎藤 耕一		

⑤参与

	卒業年	氏名	卒業年	氏名
参与	東 S14	岩下 秀男	東 S14	吉田 赳
参与	東 S15	宮川 英子	東 S17	磯 正格
参与	東 S19	大村 昭夫		

第4号議案 平成29年度 事業計画

会則に従って新しい評議員会で決定し進めるが、基本的に次の3点が柱となる。

①会員名簿の管理及び会報の発行

旧守山小学校同窓生の入会を促進する。

下北沢小学校卒業の新入会員を登録する。

年1回の会報作成とより多くの会員への送付を実施し、会費納入会員の更なる増加を図る。

会員名簿の管理は個人情報漏えいを防ぐため、責任者を決め、厳重に管理しているが、時代の流れの中で、新しい卒業生の住所名簿の入手が難しくなっている。同窓会員名簿の整備と管理は同窓会活動の根幹なので、新校移行に伴って、この困難を克服しなければならない。

②母校の教育環境の向上

母校や学校関係諸団体とのコミュニケーションを継続して行うべく、校長、副校長、教育委員会などとの関係を維持改善する。

各種学校関連行事への参加、協賛など母校の発展に寄与すべく協力する。

支出を伴う物品の寄贈は新校舎完成後に学校と協議したい。

③会員の福利厚生

会員の親睦を図るための旅行等を企画・実施する。

地域の方々を含め、会員の幅広い参加を図る。

④その他

地域行事へ積極的に参加し、地域の発展に協力する。

第5号議案 平成29年度予算

自:平成29年4月1日 至:平成30年3月31日

区分	項目	金額(円)
収入	会費収入	600,000
	寄付金収入	500,000
	東大原小学校同窓会より引継ぎ	1,900,324
	合計	3,000,324
支出	活動費	200,000
	会報費	540,000
	総会・懇親会費	80,000
	通信費	50,000
	文具等消耗品費	120,000
	郵便振替払込料金負担	50,000
	郵便振替用紙代	10,000
	予備費	50,000
合計	1,100,000	
	次年度繰越金	1,900,324

下北沢小学校同窓会会則と 個人情報保護方針について

齋藤 耕一（昭和三十六年東大原卒）

下北沢小学校同窓会の会則と個人情報保護方針は、新たに開設された下北沢小学校同窓会ホームページ

<http://www.shimokitazawa.school/>に全文が掲載されていますので、詳しくはホームページをご覧くださいと思いますが、以下下北沢小学校同窓会の会則と個人情報保護方針を制定した趣旨についてご案内します。

下北沢小学校同窓会会則について

下北沢小学校同窓会の会則は、平成二九年四月一六日開催された下北沢小学校同窓会設立総会において承認されましたが、下北沢小学校同窓会の設立趣旨は会則の全文に書かれております。ここで、会則前文の全文をご紹介します。

「平成二八年四月一日、旧東大原小学校と旧守山小学校が統合され、下北沢小学校が設立された。そして、平成二九年三月には下北沢小学校の第一期卒業生が誕生するに際し、下北沢小学校同窓会が組織されたものである。

元々両校は、大正一五年四月に開設開校された東京府荏原郡荏原尋常小学校大原分校がルーツであり、その後昭和二年七月に第三荏原尋常小学校として分離独立、児童数の増加に伴い、昭和七年四月に守山尋常小学校が、昭和一二年五月に北澤尋常小学校が開設された。また、昭和一六年四月には第三荏原尋常小学校より東大原国民学校に校名変更されたという歴史がある。従い、下北沢小学校は単なる新設校ではなく、古い伝統を引き継ぐ歴史ある小学校である。

今回、下北沢小学校同窓会を組織創立する

に際し、下北沢小学校は母校であるという認識に立ち、東大原小学校同窓会と守山小学校同窓会は下北沢小学校同窓会として承継創立されるものとする。」

このように、下北沢小学校は単なる新設校ではなく、九十年以上の歴史を持つ小学校です。従って、会則では下北沢小学校の卒業生とともに、第三荏原尋常小学校、東大原国民学校、東大原小学校、守山尋常小学校、守山国民学校、守山小学校の卒業生が正会員となつて組織されています。

同窓会の目的は、会員相互の親睦と同窓生並びに母校の発展を図ること、このために同窓会名簿の作成・管理、同窓会報の発行、母校の教育環境の向上、会員の福利厚生のため、の事業を行っています。会則ではこれらの目的を達成するための組織や会計、会議の招集方法や内容を定めています。

個人情報保護方針について

平成一七年四月一日より全面施行（平成二七年五月一日改正法施行）された個人情報保護に関する法律に基づいて、下北沢小学校同窓会は、同窓会が保有する個人情報について個人情報保護方針を定めて、個人情報保護の仕組みを構築し、個人情報の保護管理を推進します。

具体的には、「個人情報の定義」を行い、「個人情報の取得」の方法について取り決め、「個人情報の管理」をどのように行うのか「個人情報の利用目的」はどのようなものかを決めています。その他「個人情報の第三者への開示・提供の禁止」「本人による個人情報の開示等の請求について」「法令、規範の遵守と見直し」「個人情報保護方針の変更と開示」について、下北沢小学校同窓会として、それぞれどのような方針を進めていくのかを定めています。

この個人情報保護方針をホームページに公開しておりますので、是非ご覧ください。

追悼 同窓会参与 岸田義明様

（第三荏原尋常小学校第二回卒業生）平成二十九年三月三十一日ご逝去

宮川 英子（昭和一五年第三荏原小学校卒）

同窓会副会長小清水和子様から訃報のご連絡をいただきました。

岸田様は、昭和三十六年に、戦争の為中断していた東大原小学校同窓会の再興を呼びかけてくださった恩人です。六回生の加藤・土田・畠山・日留川様方が協力して、組織作りをしてくださいました。一番街の郵便局長だった岸田様を中心に、すぐそばの牛乳店だった小清水和子様、郵便局のとなり菓子店大月文江様（十四回生）が力を合わせて地域の皆さんに声かけをしていただいたおかげで、気運が盛りあがりました。当時、母校教員だった私は、学校、父母を中心に組織づくりに協力致しました。

岸田様は平成二十二年度同窓会総会で、山縣武典様（十四回生）と一緒に「私達の町の移り変わり」という演題で、後輩にやさしくお話をしてくださいました。平成二十三年度総会にもご出席いただきました。車椅子の岸田様を、小清水様がマイカーで送迎してくださいましたことを昨日のように覚えています。

同窓会以外でも、北沢の名士でいらつした岸田様にはいろいろなところでお世話になりました。

毎年のように、初詣の北沢八幡宮では、やさしい笑顔の岸田さんと、境内で、年始のご挨拶を交わすことができました。北沢四丁目町会の集まりでは、いつも顧問として出席されて、私の姿を見つけると「やあ、宮川さん」と声をかけていただきました。その優しい笑顔を、今も忘れることはありません。母校東大原小学校は、統合で下北沢小学校となりましたが、岸田様は何時までも、私達同窓生を見守ってくださいませ。幽明境を異に致しましたが、岸田義明様のご冥福をお祈りし、これまでのご指導・ご厚誼に深く感謝の心を捧げます。

建設進む新校

昨年の五月から始まった新校設立の工事はまず既存校舎の解体からはじまり、本年には本格的に立ち上がってきています。来年三月末には完成し世田谷区から下北沢小学校へ引き渡される予定です。

平成二九年四月以降十二月迄の同窓会活動

四月 二日 下北沢小学校
同窓会設立準備会議

四月 六日 下北沢小学校
入学式

四月 十六日 下北沢小学校
同窓会設立総会

五月 十三日 下北沢小学校
校公開授業参観

五月 二十一日 下北沢小学校
校同窓会理事会

五月 二十七日 下北沢小学校
校運動会参観

七月 四日 池上校長との
会議

七月 三十日 同窓会理事
会&評議員会

八月 十九日 下北沢商店
街阿波踊協賛参加

八月 二十七日 世田谷代田ものこと祭り協賛参加

九月 二四日 同窓会理事会

十月 十五・十六日 同窓会親睦旅行熱海

十一月 三日 アートプロジェクト協賛参加

十一月 二六日 同窓会会報発送

十二月 十日 理事会・評議員会



2017年9月20日(機功刀工芸様ビルより)

会員からの寄稿

縁は異なるもの

岡本 匡房(昭和二九年東大原卒)

「縁は異なるもの」という言葉がある。本来、男女関係で使われる言葉だが、近年、それ以外でも使われるようになった。最近、「下北沢小学校同窓会(OB会)」の設立で、それを実感させられた。

OB会では東大原側副会長に白井良雄さんが、守山側は齋田孝さんがなられた。二人とも梅ヶ丘中学校の卒業生だったが一年違い、互いに知り合いではなかった。ところが、私はひよんなことでお二人を知っていた。

私は東大原同窓会会長をなさっていた宮川先生の教え子で、宮川先生から「同期で理事を出して欲しい」と言われた。「一組の有志で話し合った結果「一組の白井さんを理事に推そう」ということになった。実は白井さんとは同じ組になったことがなく、それまでよく知らなかったが、以降、急速に親しくなった。

一方、齋田さんとは大学の同級生で、私の結婚式の司会をお願いした仲。飲み会で無責任に「守山でもOB会を作ったら」と言ったこともあり、二人を引き合わせる事になった。三月、下北沢の飲み屋で三人で会った。この時、OB会についていろいろ話が出て、それを拝聴した。

幸い、新生「下北沢OB会」は順調なスタートを切ったようだ。私は単なる会員だが、東大原には大きな愛着を持っており、OB会には最大限協力したいと思っている。ちなみに「縁は・」の最後は「味なもの」で終わる。是非、『味なOB会』にして頂きたい。

みんなで総会に行きましょう

杉本 真(昭和四九年守山卒)

今回会報の原稿の依頼をいただいて、何を書いたらよいか、正直困りました。取り敢えずちよこつと回想してみます。

と言っても最初の入学式のこととは殆ど覚えていません。まだ体育館はできておらず、式をどこでやったのかすら覚えていません。覚えてるのは翌年の新入生からは花のついた桜の小枝をもらったのに私たちはもらっていない、ということ。私の実家には梅の木はありましたが桜はありませんでした。一歳下の弟と三歳下の妹が持ち帰った桜の枝を挿木したところ立派に育ったのですが、私の桜はないのです。毎年桜の花が咲くと少し寂しく、又羨ましい気持ちでした。

同じ幼稚園から守山に通ったのは三人しかいませんでしたがすぐに遊び仲間ができて、放課後は毎日校庭や近所の空き地で遊びました。今はもうありませんが、「芹沢の杜」に虫を捕りに行ったり既に「二段」になっていた「三段式原っぱ」にもよく行きました。当時も校庭はほぼ今と同じ広さでしたが児童は六百人以上いましたから上級生や他のクラスの人とぶつかりしながらも元気に遊んでいました。(今の子ども達はそんな風に遊べるのかな?) そんなこんなで色々な事がありました。楽しい六年間でした。私だけでなく父の弟、私と弟妹、娘息子の三世代六人が延べ三十六年守山で楽しい時間を過ごしました。守山と東大原は昨年統合して下北沢小学校となり、来年三月には旧東大原の場所に新校舎ができます。名前や場所が変わっても私たちの母校であることには変わりありません。

来年の四月の総会は新しい下北沢小学校で開催されます。もう何年も会っていない同窓生と総会の後そこらの居酒屋等で昔の話を肴に盛り上がるのも楽しいことでしょう。今でも近所にいる方も引越されて暫く下北沢界隈を訪れていない方も是非総会にいらして新しい学校をご覧になって下さい。そして旧友と楽しいひと時をお過ごし下さい。新生下北沢小学校同窓会を一人でも多くの方と一緒に盛り上げていけたら一人でも多くの同期と一緒に飲んで笑えたらいいな、と思っています。みんなで来年四月の総会に行きましょう。

同窓生を繋ぐ

元田 雅子(旧姓 城戸) (昭和五五年守山卒)

私にとって小学校生活の後半は、最も楽しく貴重な時期でした。それは担任の先生の導きとクラス仲間の陰だと思っています。「先生へ感謝の気持ちを何かで表したい」と言うのが最初のきっかけで私の同窓生捜索がスタートしました。最初に十二年前、先生が退職されるタイミングでクラスの仲間を大捜索。その時期から同期との交流が盛んになり、数年後には学年での同期会を実施。同じ時間を共有し同じ思い出を語れる仲間がいる事に感謝しました。

同窓会の歴史を詳しく知りませんが、六十周年頃までは名簿が存在していて活動が全く無かった訳ではなかったようです。その後活動は消滅。七十周年から地元少年野球の監督をされている榎本監督が同窓会会長を引き受けて下さり、同窓会そのものは継続してきました。八十周年を迎える事になった平成二三年、周年行事に同窓生を招待するのに名簿がありませんでした。池上校長先生のご協力の元、榎本会長と同窓生探しをしました。個人情報の壁が立ち上がり難航。そしてその後「閉校」の発表。何も行動を起こさなければ、多くの同窓生は繋がる事もなく、母校が無くなる事も知らず終わってしまいます。悔いが残ってしまうと考え、地域の方・同窓生を巻き込んで大捜索をしました。捜索も含め、クラス写真

をかき集めたり、準備は想像以上に大変なものでした。お陰で閉校1ヶ月前に実施した同窓会では五百名近い方が集まり、同期や先生との再会を喜んで頂きました。

同窓会を開催するに当たって色々厳しいご意見も頂きましたが、励まし労いの言葉を支えに活動することが出来ました。協力して下さった地域の皆様、同窓生のママ友、多くの方のお陰で守山を繋ぐ事ができました。皆さんに感謝すると共に、皆様との出会いも私にとって貴重な宝となりました。幹事冥利に尽きます。

守山小学校はなくなりましたが、仲間との絆はこれからも続きます。せつかく繋いだこの絆をこれからも大切にしていって欲しいと思います。

生徒数の増減と小学校の変遷

片山 節子(昭和二八年守山卒)

少子化社会が進行するこの時代、小学校の統合が行われ、いよいよ我が母校もその対象校となり平成二八年四月一日「世田谷区立下北沢小学校」となりました。

守山小学校出身の我々はささやかながらクラス会は続けておりましたが「同窓会」はございませんでした、私は六年間守山小学校で学びましたが、その後世田谷を離れこの地と係わる機会がなく半世紀以上の年月を過ごしておりました。

そして、このたび統合が現実の事になり最初で最後の同窓会が開催され、守山小学校は消えゆく存在になったと寂寥感を味わうこととなりました。

ところが共に統合される東大原小学校には、昭和二年に創立され歴代の卒業生に依って脈々と引き継がれ地域にも貢献している立派な同窓会があり、統合直後から守山小学校卒業生に、一緒に「下北沢小学校同窓会」を設立できないだろうかという問いかけがありました。そして最初で最後の守山小学校同窓会開催を機会に協議を重ね、両校の同窓会は新校下北沢小学校同窓会として活動をしていこうということになりました。「下北沢

小学校同窓会」新設のために尽力された皆様と、旧東大原小学校同窓会の諸兄弟姉に感謝申し上げます。

東大原小学校と守山小学校のルーツは、いずれも大正時代開校した「東京府荏原郡荏原尋常小学校」であり、昭和初期生徒数の増加によりそれぞれ分離独立した経緯があり、また戦後の一時期は同じ教室を時間でシェアして授業が行われていたこともある両校です。両校が統合により新設された同窓会でひとつに纏められたことは人智の及ばない偉大な力が働いているのではないかと感慨を覚えるのです。

この歴史的にも由緒ある世田谷の地でこれから未来を担う小学生達の教育に最良の環境と機会が与えられ世界で活躍する多くの人材が育成されることを念じ「下北沢小学校」の末永い隆盛を願いつつ、同窓会としては学校・生徒・地域のために貢献することが出来ればと思っております。

同窓会への連絡、問い合わせ、寄稿の送付の方法について

現在の事務局の住所は左記のとおりです。
恐れ入りますが、連絡は郵便かFAXまたはメールでお願いいたします。
メールの場合は事務所のみならず会長ないし広報担当数名に届きますので、迅速な対応が可能です。

〒一五五・〇〇三二
東京都世田谷区北沢二丁目三五・九
小清水ビル 下北沢小学校同窓会事務局
FAX 03-5454-5356
Eメール dosokai@shimokitazawa.school

本同窓会は政治・宗教・思想について中立を守ります。



平成29年2月から平成29年9月末までの期間、年会費・寄付金を納入していただいた方々

(表中数字は卒業年、「H」は東大原「M」は守山各小学校卒業生、Tは学校関係者)

昭12H	望月	令子	昭23H	吉井	景子	昭29H	小林	千和	昭33H	重松	忠男	昭37H	大竹	康広	昭53H	増光	彦彦
昭13H	富田	隆勲	昭23H	春日	ふじの	昭29H	小辻	三子	昭33H	井上	嘉久	昭37H	松井	啓恵	昭53H	今西	千恵
昭13H	板橋	弘夫	昭23H	清水	水宏	昭29H	辻山	野子	昭33H	茂山	久純	昭37H	添田	恵美	昭54H	愛松	俊光
昭13H	千鶴	場澤	昭24H	豊田	木宏	昭29H	山野	豊子	昭33H	加藤	仁美	昭37H	市川	愛夫	昭55H	甲賀	洋由
昭13H	鮎穴	弘敏	昭24H	佐々	木陽	昭29H	桑田	喜美	昭33H	加井	章江	昭37H	加瀬	茂代	昭55H	松田	美由
昭13H	曾我	津子	昭24H	高橋	昌彦	昭29H	大岡	本房	昭33H	守屋	佳代	昭37H	吉川	喜久	昭55H	元田	之隆
昭13H	山崎	康秀	昭24H	張富	士安	昭29H	杉浦	保彦	昭33H	大石	義治	昭38H	福井	節文	昭56H	愛甲	正紀
昭14H	岩加	秀起	昭24H	丸関	美津	昭29H	尾村	彰朝	昭33H	石井	琇暉	昭38H	下青	木倉	昭56H	畑正	紀子
昭14H	吉田	健蔵	昭24H	西岡	藤巖	昭29H	香杉	敬朝	昭33H	石井	哲寛	昭38M	猪鹿	次郎	昭57H	辻宮	健二
昭14H	平田	昇平	昭24H	高橋	みどり	昭29H	渡辺	翠子	昭33H	田中	清子	昭39H	金根	和敏	昭58M	高山	英和
昭14H	本橋	昇平	昭25H	園田	博津	昭29H	町田	恭子	昭34H	松島	紘一	昭39H	降本	正明	昭59H	平瀬	嘉美
昭14H	諸谷	昇平	昭25H	阿川	伊津	昭29H	星明	子三	昭34H	松尾	忠敏	昭39H	高野	美枝	昭59H	瀬江	貴生
昭14H	高宮	昇平	昭25H	崎野	多純	昭29H	稲葉	晴子	昭34H	平井	敏光	昭39H	石山	正亨	昭59M	江上	謙介
昭15H	高澤	昌裕	昭25H	阪野	俊一	昭29H	植足	立三	昭34H	伊藤	知子	昭40H	加藤	正毅	昭60H	江本	優太郎
昭15H	大井	收郎	昭25H	高野	美也	昭29H	福吉	善智	昭34H	増井	桂弘	昭40H	中野	千代	昭60H	林太	郎子
昭15H	村松	樹郎	昭25H	不破	澄江	昭29H	飯田	充修	昭34H	眞瀬	純子	昭41H	佐野	修司	昭61H	漆友	敬子
昭15H	宮川	英典	昭25H	不安	輝彦	昭29H	渡藤	場一	昭34H	川端	直子	昭41H	牧野	多昇	昭61H	友田	やまめ
昭16H	福山	昭武	昭26H	後藤	佳彦	昭29H	高倉	教太郎	昭34H	小松	徹和	昭42H	清水	誠鶴	昭61H	和野	久介
昭16H	脇原	稔康	昭26H	深津	健司	昭29H	佐木	慧子	昭34H	小清	和子	昭42H	荒川	誠鶴	昭63H	富中	輔美
昭16H	向野	愛治	昭26H	石井	宏和	昭29H	五十	嵐辰	昭34H	神田	子吉	昭43H	神谷	千弘	昭63H	野川	タカキ
昭16H	立大	正雄	昭26H	中野	勝彰	昭29H	島田	睦治	昭34H	小峰	吉夫	昭44H	大澤	弘一	昭63H	久野	謙弘
昭17H	柏誠	正格	昭26H	野澤	桂子	昭29H	高橋	道一	昭34H	木島	早苗	昭44H	久杉	浦加	昭63M	平田	明人
昭17H	磯正	昭格	昭26H	福土	京子	昭29H	辻節	秀子	昭34H	藤田	保子	昭44H	梅村	毅孝	昭63M	平田	明人
昭17H	平田	昭格	昭26H	土田	昌宏	昭29H	海老	玉江	昭34H	宮田	久子	昭44H	藤森	正洋	昭63M	平田	明人
昭17H	高見	稔子	昭26H	青木	一昭	昭29H	岩田	美智	昭34H	石丸	邦雄	昭45H	岡野	秀元	昭63M	平田	明人
昭17H	野坂	茂子	昭26H	山中	克百	昭29H	寺嶋	喜久	昭34H	青川	庸介	昭45M	吉野	元美	昭63M	平田	明人
昭17H	高野	澤子	昭26H	岩野	賀愛	昭29H	櫻村	敏子	昭34H	森野	照矩	昭45M	阿部	由美	昭63M	平田	明人
昭17H	伊藤	乃子	昭26H	皆川	美智	昭29H	村木	智恵	昭34H	川野	照矩	昭46H	長谷	川一	昭63M	平田	明人
昭17M	宮下	健一	昭26H	神田	美智	昭29H	鈴木	隆輔	昭34H	伊藤	夫之	昭46H	志波	敦一	昭63M	平田	明人
昭18H	中西	武弘	昭27H	長谷	川博	昭29H	伊藤	成泰	昭34H	新居	孟之	昭46H	宮崎	好江	昭63M	平田	明人
昭18H	山中	潤子	昭27H	樹崎	志之	昭29H	杉野	昌江	昭34H	高野	和子	昭47H	山本	一好	昭63M	平田	明人
昭18H	山上	彦三	昭27H	武田	国子	昭29H	高野	昌江	昭34H	宮村	江和	昭47H	斎藤	敏夫	昭63M	平田	明人
昭19H	山田	昭三	昭27H	渡辺	公清	昭29H	宮村	昌江	昭34H	高橋	和子	昭47H	太田	千里	昭63M	平田	明人
昭19H	松島	昭若	昭28H	剣持	田茂	昭29H	高橋	和子	昭34H	神村	妙子	昭48H	武中	千恭	昭63M	平田	明人
昭19H	中村	美子	昭28H	鹿島	光洋	昭29H	神村	和子	昭34H	飯田	春樹	昭48H	山中	波恭	昭63M	平田	明人
昭19H	小高	恵美	昭28H	松野	定子	昭29H	福今	和子	昭34H	鈴木	純子	昭48H	江波	浩一	昭63M	平田	明人
昭19H	高田	美智	昭28H	園部	幸子	昭29H	藤村	郁子	昭34H	益井	和子	昭48H	後藤	美保	昭63M	平田	明人
昭19H	多田	美智	昭28H	平形	千恵	昭29H	河村	衛夫	昭34H	樋口	百合	昭49H	島崎	大貴	昭63M	平田	明人
昭20H	高木	精一郎	昭28H	赤津	信雄	昭29H	吉井	勇美	昭34H	香野	和夫	昭49H	大久	安修	昭63M	平田	明人
昭20H	菊田	貴幹	昭28H	仲井	林尚	昭29H	江川	宏美	昭34H	野元	和子	昭49H	子安	寛真	昭63M	平田	明人
昭20H	土屋	健愛	昭28H	小神	谷秋	昭29H	中山	まこと	昭34H	橋本	真也	昭49M	江波	真男	昭63M	平田	明人
昭20H	小平	坂依	昭28H	石垣	公一	昭29H	大矢	四十六	昭34H	鈴木	良太郎	昭50H	渡辺	有希	昭63M	平田	明人
昭20H	根岸	依子	昭28H	神坂	紀子	昭29H	江口	美子	昭34H	新庄	令子	昭50H	妹尾	博希	昭63M	平田	明人
昭20H	江里	弘子	昭28H	坊坂	光子	昭29H	生駒	美子	昭34H	児玉	万里	昭50M	加藤	高若	昭63M	平田	明人
昭20H	熱田	千津	昭28H	高木	直樹	昭29H	加藤	久恵	昭34H	西岡	和一	昭50M	鈴木	高若	昭63M	平田	明人
昭20H	大島	浩子	昭28H	赤三	橋直	昭29H	山土	洋勝	昭34H	古漆	光耕	昭50M	高木	裕雅	昭63M	平田	明人
昭21H	田村	眞彦	昭28H	神田	友直	昭29H	玉利	京子	昭34H	斎藤	一忠	昭50M	土田	眞智	昭63M	平田	明人
昭21H	伊岩	豊彦	昭28M	片山	節卓	昭29H	永田	勝介	昭34H	小伊	眞澄	昭50M	吉田	幸男	昭63M	平田	明人
昭21H	安藤	猛夫	昭28M	古藤	孝二	昭29H	師勝	正敏	昭34H	伊藤	雅子	昭51H	田尾	幸三	昭63M	平田	明人
昭21H	堀内	稔子	昭28M	齋田	代孝	昭29H	杉浦	昭正	昭34H	大岡	雅子	昭51H	藤金	茂理	昭63M	平田	明人
昭21H	戸崎	佳子	昭28M	吉本	幸一	昭29H	流石	朝三	昭34H	谷平	居洋	昭51H	谷島	恵克	昭63M	平田	明人
昭22H	河野	照郎	昭29H	大矢	八郎	昭29H	館石	三修	昭34H	村居	健美	昭51M	島衣	直子	昭63M	平田	明人
昭22H	田島	照文	昭29H	楠山	哲四	昭29H	石井	重和	昭34H	塩坂	正と	昭51M	山本	文之	昭63M	平田	明人
昭22H	橋本	孝順	昭29H	石田	次郎	昭29H	依田	軍美	昭34H	高橋	もと子	昭51M	山本	文之	昭63M	平田	明人
昭22H	恩田	弘司	昭29H	大白	井雄	昭29H	泉松	尾治	昭34H	黒澤	嶋祥	昭52H	山本	文之	昭63M	平田	明人
昭22H	上野	美弘	昭29H	鈴木	木喜	昭29H	松尾	美雄	昭34M	原五	島秀	昭52M	山本	文之	昭63M	平田	明人
昭23H	若石	井宮	昭29H	鈴木	喜美	昭29H	稲垣	末吉	昭33H	吉浦	彰二	昭52M	森野	慎元	昭63M	平田	明人
昭23H	宮内	實太郎	昭29H	鈴木	喜美	昭29H	稲垣	末吉	昭33H	吉浦	彰二	昭53H	坂野	元泰	昭63M	平田	明人